

創立 100 周年記念事業計画 概要

- 1 記念式典、授賞式、受賞講演、シンポジウム
開催日時：2022 年 10 月 17 日午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分
開催場所：千里ライフサイエンスセンター（大阪府豊中市新千里東町 1-4-2）および web によるハイブリッド開催
- 2 記念祝賀会
開催日時：2023 年大会開催時
開催場所：中部地区
新型コロナウイルス感染症拡大の状況に応じ開催を 2023 年大会時とします。
- 3 記念大会
開催日時：2022 年 10 月 17 日から 10 月 20 日
開催方法：web 開催
- 4 記念事業
 - 4.1 記念発刊、記念出版
「日本生物工学会 100 周年史」発刊、英文誌（*Journal of Bioscience and Bioengineering*）の 100 周年記念 Virtual Special Issue（未来にむけた生物工学研究の Review 論文集）発行、「ひらく、ひらく「バイオの世界」」英語版出版、「バイオ実験を安全に行うために」英語版出版、「間違いから学ぶ実践統計解析—R、Python によるデータ処理の始め—」出版
 - 4.2 記念オンラインコンテンツの作成
 - 4.2.1 培養技術 Wikipedia 作成
 - 4.3 記念基金
 - 4.3.1 生物工学賞、生物工学功績賞、生物工学功労賞、生物工学奨励賞（江田賞、斎藤賞、照井賞）、生物工学論文賞、生物工学アジア若手賞、生物工学若手賞（新設）の表彰
 - 4.4 記念シンポジウム開催
生物工学の歴史・潮流の概観、未来に繋がる多様な視点（未来の課題、産学連携、国際、若手など）の複数のシンポジウム、ワークショップを記念大会において開催。記念大会外においても未来テーマのシンポジウム、発酵・培養・生物化学工学領域の企業の若手研究者の人材育成・教育を目的としたセミナーを開催
- 5 国際交流事業
ASEAN を中心とした海外学会と未来に繋がる共同学会やシンポジウムの開催
- 6 記念広報活動
記念事業、記念大会実施に向けた広報

創立 100 周年記念事業予算

収入の部（内訳）		支出の部（内訳）	
創立 100 周年事業積立金	2,500,000	記念式典	1,200,000
寄付金	23,700,000	記念祝賀会	1,500,000
正会員(5,000x2,400 口)	12,000,000	記念事業	15,910,000
学生会員(2,000x20 口)	40,000	記念出版・記念発行	4,730,000
団体会員(10,000x35 口)	350,000	記念オンラインコンテンツ作成	1,200,000
賛助会員(5,000x100 口)	5,000,000	記念基金	5,040,000
業界団体	6,310,000	記念シンポジウム開催	4,940,000
		国際交流事業	1,700,000
		記念広報活動	500,000
		記念品費	2,000,000
		その他経費	3,390,000
		印刷・通信費	1,000,000
		雑費・予備費	2,390,000
収入計	26,200,000	支出計	26,200,000